

No.55

令和7(2025)年11月1日発行

主 な 内 容

皆さんの声を議会へ
(一般質問)……………2～5

トピックス……………5

決算審査特別委員会
審査報告……………6～8

主な議決結果……………9

傍聴してみませんか……………10

たきかわ 市議会 だより

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます！



マチイロで検索 (iOS・Android 対応)



令和6年度一般会計など決算7件を審査・認定

第3回市議会定例会が9月5日から18日までの14日間の会期で開かれ、前田市長から令和6年度各会計決算に係る決算大綱説明が行われました。

また、令和7年度一般会計補正予算など市長提出議案9件がいずれも可決されたほか、市政について14人の議員による一般質問が行われました。



市民の暮らしに寄り添う市立病院と市営バス

一般会計補正予算の主な内容

旧スマイルビルアスベスト含有調査
業務委託料の増額 1,301万円
乳児等通園支援事業実施及び保育所
等広域入所負担金の増額 1,801万円
吹奏楽の楽器購入の増額 1,397万円
令和6年度国庫補助金等の事業費確
定に伴う返還 6,722万円

一般会計・特別会計		決算額	執行率
一般会計		238億1025万円	94.5%
特別会計	国民健康保険特別会計	41億5065万円	93.5%
	公営住宅事業特別会計	8億977万円	95.5%
	介護保険特別会計	37億8441万円	91.3%
	後期高齢者医療特別会計	7億5540万円	93.1%
	小計	95億23万円	

企業会計		決算額	執行率
下水道事業	収入計	17億3504万円	91.1%
	支出計	21億867万円	89.3%
病院事業	収入計	65億5192万円	84.6%
	支出計	81億7613万円	93.3%

皆さんの声を議会へ

本市議会では、6月・9月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、14名の議員が質問しました。

質問者	質問項目
寄谷 猛男 (日本共産党)	子どもの権利条例の制定 子どもの権利救済機関の設置 外国人との共生啓発動画の作成 エアコン購入費用の助成 公園のイベント利用支援・空き地のイベント広場としての活用 学校体育館空調設備の設置
安樂 良幸 (新政会)	ふるさと納税 市内高等学校の今後の在り方
好川 章 (新政会)	市営バスの運行 介護事業所の廃業による市民への影響 認知症予防
福井 雅章 (新政会)	病院の経営責任 病院の経営改善に向けた取り組み
堀 重雄 (公明党)	身寄りのない高齢者に対する支援
藤田 哲也 (市民ネットワーク)	財政シミュレーション
関藤 龍也 (市民ネットワーク)	滝川駅周辺地区再生整備事業 持続可能なまちづくり 官民連携事業 事業所の実態把握調査 教職員の研修 給食費無償化
荒木 文一 (市民ネットワーク)	病院事業債(経営改善推進事業) 許可病床数の削減に伴う人員削減 看護師修学資金貸付枠の設定 今後の大規模改修 一般会計からの繰入金 法定外繰入に対する考え方
三上 裕久 (公明党)	滝川市公共施設個別施設計画前期計画 遊休資産 市営住宅の猛暑対策 特別教室での猛暑対策
木下八重子 (会派清新)	道路維持 医療体制
荻野 仁史 (市民ネットワーク)	西滝川エリアへの公共交通 母親のためのレスパイトケア事業 賑わいの創出 滝川ふれ愛の里
高橋江海子 (会派清新)	女性活躍社会の実現 滝川駅周辺地区再生整備事業 生活保護 保育料の算定 妊産婦への保健・栄養指導 文化教育拠点
山口 清悦 (新政会)	災害時の輸送協定 訪問介護事業への支援
柴田 文男 (会派清新)	市政執行体制の整備促進 指定管理者制度の見直し

※「指定管理者」は10ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

第3回定例会 一般質問から

子どもの権利条例の制定について



寄谷 猛男（日本共産党）



問 子どもの権利保障を規定する基本条例の制定について伺う。

答 本市にはこどもの子育て・子育て環境づくりに関する条例があり、子どもの視点のまちづくり、子ども参画の促進は条例で定められ、やらなければならないものと認識しています。優先すべきは実際の施策であり、新たな条例の制定は考えていません。

問 平和公園のイベント利用料の見直しについて伺う。

答 公園でのイベントは本来の公園利用に一時的な制限が生じることから、事前の許可及び使用料が必要です。1日1㎡につき70円としており、改定は考えていません。

問 旧総合福祉センター跡地のイベント利用について伺う。

答 イベント利用も可能で、利用料は1日1㎡につき、1,14円です。

市内高等学校の今後の在り方について



安楽 良幸（新国会）



問 少子化が進む中、本市教育委員会として将来を見据え、市内に所在する高等学校の今後の在り方をどのように考えているのかを伺う。

答 全国的に少子化が進む中、北海道教育委員会から6月に示された公立高等学校配置計画案の中では、空知北学区において中卒者数が令和8年度から14年度までに184人減少すると推測されており、本市を中心に周辺市町を含めた全体の配置と在り方について検討が必要と示されました。滝川市教育委員会としては少子化による進学動態、今後の本市における様々な計画や財政状況などの下、未来を切り拓く自立型人材の育成に向け、北海道教育委員会と協議・調整を進めながら今後の市内3校の在り方について検討していきます。

ものの忘れ検査入院について



好川 章（新国会）



問 滝川市立病院の「ものの忘れ検査入院」の利用状況を伺う。

答 平成30年度は5件でスタートしましたが、令和6年度には33件となり成果を挙げています。2泊3日の入院で検査を行い、専門スタッフが診断し、患者や家族の意見を尊重しながら支援しています。

問 市内の介護事業所が廃業したが、利用者に影響はなかったのかを伺う。

答 事前に事業を廃止する届け出が提出されており、廃止日までに全ての入居者がほかの施設に移転したことを確認しています。

問 滝川市内線の利用状況について伺う。

答 令和7年度から滝川市の運行となりましたが、7月末時点の利用状況は令和6年度と同水準で推移していることを確認しています。

初任給減額と経営責任について



福井 雅章（新国会）



問 看護師等の初任給基準の見直し計画案により、1人あたり年20万円が減額され、職員間に賃金格差が生じることを確認した。初任給の減額は、経営責任の一端を滝川市立病院で働くことを志した看護学生等に対する信義にもとる責任転嫁に思われ、大変情けなく感じる。減額を実施するにあたって、経営責任者はどのような責任を取るのか道理であるか市長の考えを伺う。

答 労使協議事項であるため、答弁を差し控えさせていただきます。

問 現在、市立病院は、一部適用形態により経営をしているが、経営責任はどこにあると考えているか市長に伺う。

答 市立病院の設置者は市長であることから、最終的な経営責任は私市長にあるものと認識しています。

身寄りのない高齢者支援について



堀 重雄（公明党）



問 入院などで身元保証や死亡後のことに不安を抱える身寄りのない高齢者は多く、民間の身元保証サービスは高額であるため、経済的理由から利用できない市民もいる。市としてどのような支援ができるのかを伺う。

答 全国では、高齢者単身世帯等の増加が見込まれる中、厚生労働省の「地域共生社会の在り方検討会議」において、身寄りのない高齢者等の生活上の課題に関する相談窓口の在り方として、介護、障がい、生活困窮等の各領域で支援体制の枠組みがあることを踏まえ、相談支援機能を強化していくべきとの方向性が示されています。滝川市においては、支援体制の枠組みがあることから、相談内容を受け止め、連携した相談支援を行っています。

財政シミュレーションについて



藤田 哲也（市民ネットワーク）



問 昨年の第4回定例会における「財政シミュレーションは検討中のため提示が遅れている」との答弁から半年以上が経過したが、いまだ市民や議会に示されていない。他の自治体では不確実性があっても暫定的な財政見通しを公表しており、本市が公表できない具体的な理由を伺う。

答 本市においては、病院経営の先行きに関する不確実性や、駅前再整備事業の一旦停止に伴う計画見直しなど、将来の財政負担に大きく影響する要素が現時点で確定していません。そのため、現段階で財政シミュレーションを提示することは困難であると考えていますが、駅周辺整備の再開にあたっては、財政シミュレーションを提示したいと思っています。

第3回定例会 一般質問から

駅周辺整備事業と給食費無償化について



関藤 龍也（市民ネットワーク）



問 駅周辺整備事業の再開や政策転換など、今後どのように進めていくのかを伺う。

答 令和9年度を目標に事業を再開したいと考えていますが、財政見通しを含め、現段階では今後の展開を示すことはできません。

問 旧スマイルビルの解体を早期に進めるべきと考えるが、見解を伺う。

答 財政見通しを見極めつつ、地方都市の市街地再生の必要性を国に働きかけたいと考えています。

問 中学校の給食費無償化を本市独自で実施する考えはあるのかを伺う。

答 物価高騰に伴う給食費上昇分を公費負担していますが、国の動向を見極め、令和8年度以降の給食費のあり方について、引き続き検討していきたいと考えています。

病院事業について



荒木 文一（市民ネットワーク）



問 新たな病院事業債（10億円超）の発行は、建物の償還と合わせて、多重債務につながらないのか。

答 起債による固定負債となるため、金融機関からの一時借入ではありません。令和11年度に現金残高を残し、支払利息を極力抑えつつ、財政健全化法の20%以上の資金不足比率を発生させない範囲での借入を検討します。

問 現在の建物（新病院）となって以降、令和6年度までの間に、本来は一般会計から繰入れされるべき金額（総務省の繰出基準）と実際の金額との差を伺う。

答 現在の建物になった平成23年度から令和6年度までの14年間で、繰入基準と実際に繰入れされた金額の差については、49億5461万円となっています。

エアコン設置による猛暑対策について



三上 裕久（公明党）



問 市営住宅の網戸設置を標準とすることや指定管理者あるいは、市内事業者と入居者間でのリース契約方式によるエアコン設置を可能とすべきと考えるが、見解を伺う。

答 網戸の設置は、費用が高くなるため、考えていません。また、指定管理者及び市内事業者へのリース契約方式によるエアコン設置を打診しましたが、難しいとの返答をいただいています。

問 市内小中学校の特別教室（音楽室・理科室等）や体育館におけるエアコン設置に向けての考えを伺う。

答 市所有のスポットクーラーが80台ありますので、未設置の音楽教室や理科室などで活用し、一時的に涼んでいただきたいと思います。そのため、現時点ではエアコンを設置する考えはありません。

道路維持と医療体制について



木下八重子（会派清新）



問 凍結等の影響で市道が歪んでいると苦情を聞く。安全確保の面から、道路補修を速やかに進めるべきと考えるが、現在の対応を伺う。

答 日頃からパトロールを実施し、危険な箇所は即時対応を行っているところです。今後も必要な予算を確保し、集中的に取り組んでいけるよう協議を進めていきます。

問 市立病院の医療体制に不安を抱く市民に対し、「自治体病院として守る最低減の医療ライン」を提示すべきと考えるが、見解を伺う。

答 許可病床を減少する予定ですが、適正な病床数への見直しを図るものであり、急性期医療から他の機能への転換ではありません。今後も関係機関との連携強化や二次救急医療機関としての体制維持に努めながら、市民の健康増進に寄与していきます。

西滝川エリアへの公共交通について



荻野 仁史（市民ネットワーク）



問 令和8年度開設予定の新B＆G海洋センター、既存の滝川ふれ愛の里、キャンプ場、コカ・コーラパークフィールド72等、西滝川エリアの活性化に大きな期待が寄せられる一方、公共交通環境は大変脆弱であるとする。公共交通のあり方を速やかに検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 事務レベルで検討を行っているところです。現段階でお示しができる状態ではありませんが、新海洋センターができるということで、費用の面も含め、具体的に検討を行っていきます。

問 検討段階と理解したが、実現への可能性について伺う。

答 現在、検討を進めている段階ですので、実現の可能性については現段階ではお答えできないということになります。

文化振興と保育料算定について



高橋江海子（会派清新）



問 文化ホールを駅周辺整備事業に組み込む計画に変わりないとのことだが、継続的な協議会設置の考えはあるか伺う。

答 対話を重視し、前向きに検討します。

問 本市の文化振興への考えを伺う。

答 文化は心の潤いです。現状は大変申し訳なく思いますが、子どもたちに楽器を贈るなど、今後も文化振興のために多くの方と協力して取り組んでいきたいと考えています。

問 千葉市のように多子基準を見直し、保育料負担軽減制度の拡大ができないか。時代に合わせた子育て支援について伺う。

答 本市で同様の支援策を行う場合、年間1千万円程の独自予算が必要です。学童など他の子育て支援の維持もあるので、今後も予算を鑑みながら支援充実に努めます。

第3回定例会 一般質問から

防災行政について



山口 清悦（新国会）



問 災害時の輸送協定について、滝川市と民間団体との災害時協定は様々な分野で結んでいるが、啓南団地などの住民は高齢化が進み、自力で避難できない人たちが増えてきている。大量の人数が早急に避難しなければならないときに備え、バス会社やタクシー会社と災害時協定を結ぶべきと思うが、見解を伺う。

答 これまで住民の大量避難は想定していなかったため、今後は他市町村の状況などを調査して検討していきます。

問 事業継承が難しくなっている訪問介護事業所に対する支援について伺う。

答 市内事業所の窮状を把握していることから、国への要望を行いつつ、どのような支援ができるか前向きに検討していきます。

市政執行について



柴田 文男（会派清新）

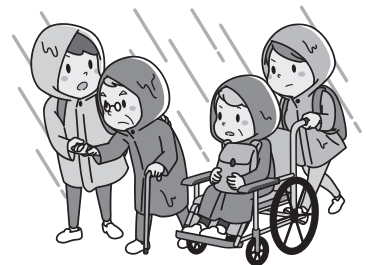
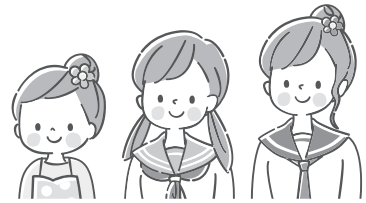


問 全国各地の自治体では業務上の問題や停滞事案が発生している。本市においても予想外の事態が起こる可能性があるため、市政執行上の人員配置や意思伝達手段等を点検し、改善に努めるべきと思うが、市の考えを伺う。

答 時代に応じた改善が必要との認識はあります。ご指摘の行政組織における人員配置や意思伝達は重要と考えており、今後改善に向け検討していきたいと考えています。

問 現状の指定管理の標準期間である3年では、対応が困難な事業所があると聞く。全国の状況を加味し、見直すべきと考えるが、見解を伺う。

答 全国の多くの自治体が5年の期間を採用する傾向にあります。現行の条例中でも対応は可能と考えていますが、見直しについて前向きに対処していきたいと考えています。



Topics 議員活動の紹介

研修会を開催しました

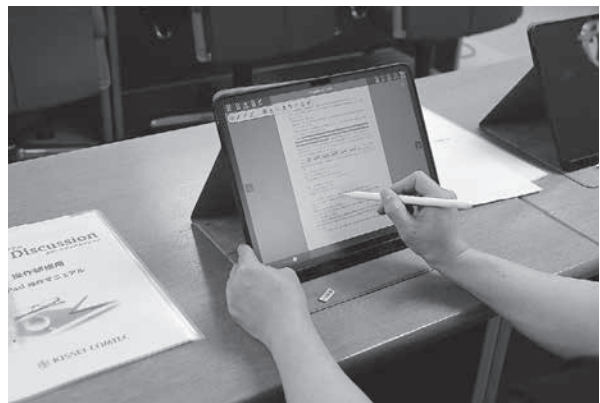
今回の定例会・臨時会本会議及び各常任委員会より運用を開始するタブレット端末及び会議システムの操作研修会を開催しました。各講師の丁寧な説明の下、議員自ら実機の操作を行いながら学びました。今後1年間は、紙とタブレットを併用しながら実務的な支障等を確認し、議会運営の効率化等を目指していきます。

タブレット操作研修会開催



（令和7年9月24日開催）

会議システム操作研修会開催



（令和7年9月25日開催）

第3回 定例会

決算審査特別委員会審査報告

一般会計など全決算を“認定”

本定例会では、第1および第2決算審査特別委員会を設置し、9月10日から11日まで各委員会を開催し、令和6年度一般会計1件ならびに特別会計4件、企業会計2件について審査を行いました。

クレジットカード納付

問 市では、クレジットカードでの納付を行っていないのかを伺う。

答 市独自のクレジットカード納付は行っていないませんが、固定資産税と軽自動車税については、令和5年度から全国一律で納付書に地方税統一QRコードを印字しており、パソコンやスマートフォンなどから読み取ることで、クレジットカードなどによる納付ができます。

問 固定資産税と軽自動車税以外の税金については、クレジットカードで納付できないのかを伺う。

答 市民税と国民健康保険税について、市のシステム体制が整い次第、納付書にQRコードをつけて、クレジットカードによる納付ができるよう取り組んでいきます。

ヒグマ対策

問 鳥獣被害対策実施隊の出動回数及び隊員の活動状況や課題について伺う。

答 令和6年度は民間からの鳥獣被害対策実施隊を1名任命し、計8回出動しました。また、北海道猟友会の滝川ハンタークラブさんに依頼をし、パトロールや現地確認等、計51回対応していただきました。令和7年度については、隊員の増員と体制の強化にも取り組み、着実に対応を継続していきたいと考えています。

文化施設の運営管理

問 音楽公民館や市民交流プラザについて、利用する市民からの要望と、要望への対応について伺う。

答 音楽公民館については、主にエアコンの整備について要望があり、予算の関係上、大型扇風機とスポットクーラーを導入しています。市民交流プラザについては、座席数や座席の高さ、会場の使い方について要望があり、今後、各関係団体や施設側と協議等を行って検討していきたいと考えています。

特定空き家

問 特定空き家について、予定どおり除却を行ったのかを伺う。

答 行政代執行による除却1件、略式代執行による除却1件の、計2件の除却工事を令和6年度計画し、計画通り施行が完了しました。



※「行政代執行」「略式代執行」は10ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

学童の利用状況

問 学童の施設運営や職員の人材確保について、課題があったのかを伺う。また、それぞれの学童で待機児童が生じていたのかを伺う。

答 職員については、常勤職員の欠員により、臨時職員で対応しています。人材確保のため、ハローワークでの求人や広告掲載などにより職員の募集を行っています。また、年度当初に数名いた待機児童については、既存利用者の利用中止に伴い、年度末に解消しました。



後期高齢者医療制度

問 75歳になると後期高齢者医療制度に加入することになるが、制度の説明はどのように行っているのかを伺う。

答 75歳の誕生日を迎えられる方へ、制度を案内するパンフレットや、マイナ保険証についての説明文書などを郵送しています。

国民健康保険税

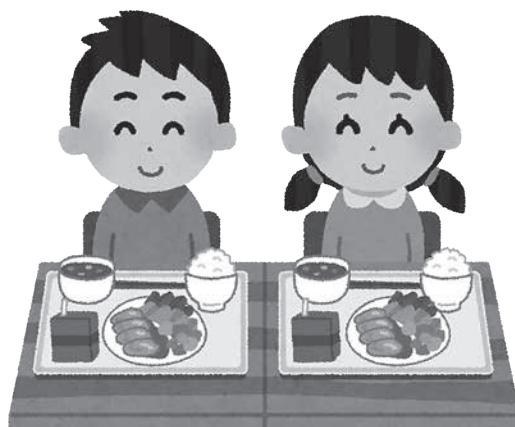
問 収納率向上のための具体的対策について伺う。

答 収納率向上特別対策事業として、督促状の発送後に電話での催告による周知啓発や、納め忘れを防ぐための口座振替の推進、未納者へ4月、7月、11月、2月に催告書等の一斉送付などを行っています。それでも未納の方には、早い段階から財産調査を行い、納付誓約を守らない場合は差し押さえを行っています。これらの取り組みの結果、令和6年度現年課税分の国民健康保険税の収納率は過去最高の97.58%となりました。

給食費

問 物価高騰の影響で、給食の量や献立に影響はないのか、また、工夫等について伺う。

答 令和5年度から給食費の単価を値上げさせていただいていますが、栄養教諭たちが、栄養価を満たした上でより安価な食材を求めながら、彩りなども考慮して献立を作成しており、安全安心で美味しい給食を提供することができたと考えています。



市立病院の経営状況

問 数年にわたりコロナの交付金収入があったことで、病床数削減や人員整備などの判断が遅れたのではないかとと思うが、考えを伺う。

答 病院としては、判断が遅れたとは考えていません。コロナ禍を経て通常の診療体制に戻れば、入院では200床程度、外来では750人程度の患者数に戻っていくと推測をしていましたが、想定とは異なる結果になったところです。

問 前年と比べ、入院患者が3.2%減、外来患者が6%減であるが、医業収益が約6.5%減と収益の減少幅が大きいことについて、どのように分析しているのかを伺う。

答 医師の減少により、収益性の高い手術等の件数が減少したことが大きな要因であると考えています。

決算審査特別委員会 における各会派討論



◎新政会

民生費について、民生委員は定数117名に対し、現員は89名と、担い手不足が深刻化している。募集要項の工夫や年間活動費の増額を国に求めるなどの対応が必要であると考えている。土木費では、緊急浚渫推進事業の1巡目が終了したが、近年の日本各地で発生する記録的な豪雨を鑑み、事業の継続を要望する。

公営住宅事業特別会計では、人口減少に見合う戸数管理を徹底し、居住者が安心して暮らせるよう施設管理者との情報共有と点検を行っていただきたい。病院事業会計では、恒常化している患者数の減少や、医師不足に伴う手術数の減少による厳しい財政運営を乗り越えるために、病床数減少など様々な政策を検討・実施していただきたい。また新規患者を獲得する方法・施策も考えるべきと思う。

◎市民ネットワーク

経費節減や財源確保の工夫により約9億円の黒字を確保できたことを高く評価する。厳しい財政環境下にあっても、健全な財政運営を意識した成果であると考えている。今後はEBPMの考え方を取り入れ、限られた財源を効果的に市民サービスへとつなげていただきたい。また、ふるさと納税の安定的な寄付確保のため、本市の魅力をさらに発信することを期待する。

病院事業会計について、滝川市立病院が抱える諸課題は特筆される事象ではないと考える。

これから様々な難しい判断を迫られると思われるが、市民利用者に対する適切な情報提供と、医療職の大量退職の事態を招かぬよう徹底した説明責任を強く求める。

◎会派清新

厳しい物価高騰の中、市税の収納率が大幅に増加したことは評価に値する。今後も職員が知恵を出し合い、市民の意見に耳を傾けながら、持続可能なまちづくりを進めることを期待する。また、次世代を担う子どもたちの成長環境づくりや地域の活性化、市民の健康・安心・安全につながる投資について、積極的な財政運営を求める。

空知管内では、事業実施に当たり業者との金銭的な癒着問題や工事費の水増しなど、あってはならない事象が起きている。全国的にも税の賦課漏れや徴収漏れなど、これまで予想できなかった事象が起きている。市立病院の経営問題も全国的な問題であり、今後も市立病院に限らず、全ての会計に携わる職員に適切かつ十分な対応を図るよう努められたい。

◎公明党

令和6年度は、長期化したエネルギー高騰や物価高騰により、まだまだ市民生活が苦しい状況にある。また、駅周辺地区の再整備は、将来的な財政見通しが立たないことから一旦停止しており、再始動することを望む市民がいる一方で、将来の財政負

担が重くのしかかり、これまで受けていた市民サービスが抑制されるのではないかと心配する市民もいる。一旦立ち止まったことは、全ての事務作業を総点検する良い機会であると考えている。

今後人口減少が予想される中、税収も減少することが予想される。各会計において、市民サービスの低下を招かないよう業務改革をさらに進めることを期待する。

◎日本共産党

病院事業会計は大きな赤字を出したが、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった時期に献身的に診療にあたり、市民から厚い信頼を得てきたことは、コロナ後も変わるものではない。現在の患者数に見合った診療規模への転換を図らざるを得ないが、公的病院としての役割を果たし、市民から選ばれる病院として経営改善に取り組んでいただきたい。

介護保険特別会計について、高齢化が進み介護保険サービスの需要はさらに高まると予想されるが、人材の確保はますます困難になる。サービス提供に影響が出ないよう取り組んでいただきたい。下水道事業会計については、埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、持続可能な下水道事業を維持していくため、本市においても技術職員の確保に努め、インフラの維持管理を図っていただきたい。

令和7年第3回定例会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	令和6年度決算に係る健全化判断比率について	報告済
報告第2号	令和6年度決算に係る資金不足比率について	報告済
報告第3号	株式会社滝川振興公社の経営状況について	報告済
報告第4号	監査報告について	報告済
報告第5号	例月現金出納検査報告について	報告済
議案第1号	令和7年度滝川市一般会計補正予算（第3号） 旧スマイルビルアスベスト含有調査の実施及び旧スマイルビル鈴蘭通側流雪溝投雪業務の実施、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施並びに新十津川幼稚園の認定こども園移行に伴う広域入所負担金及び子育てのための施設等利用給付費負担金の増額、滝川第一小学校空調設備改修工事の実施、小学校スクールバンド及び授業等で使用する楽器の購入、中学校吹奏楽部の楽器の購入、滝川西高等学校吹奏楽部の楽器の購入などのための補正です。	原案可決
議案第2号	令和7年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第1号） 介護給付費等に係る国庫支出金等の精算による償還金の増額を行うための補正です。	原案可決
議案第3号	滝川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する条例 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例の制定です。	原案可決
議案第4号	滝川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴う改正です。	原案可決
議案第5号	滝川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行等に伴う改正です。	原案可決
議案第6号	滝川市都市計画審議会条例の一部を改正する条例 都市計画審議会における委員構成の見直し及び常務委員会を廃止するための改正です。	原案可決
議案第7号	滝川市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 滝川市立病院の経営改善の取組として、段階的に許可病床の見直しを進めるに当たり、現在休止している病棟の病床を廃止するための改正です。	原案可決
議案第8号	滝川市下水道条例の一部を改正する条例 災害その他非常時の場合における指定工事店の確保が困難である場合には、他の市町村長の指定を受けた排水設備指定工事店による工事を特例的に認める規定を設けるための改正です。	原案可決
議案第9号	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について	原案可決
議案第10号	決算審査特別委員会の設置について	原案可決
認定1号～7号	令和6年度滝川市各会計決算	認定
意見書案第1号	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書	原案可決
意見書案第2号	ヒグマ出没に対する緊急銃猟の安全確保と鳥獣被害防止対策の強化を求める要望意見書	原案可決

議員研修会に参加しました

7月23日(水)、第32回中空知ふるさと市町村圏議員交流会が新十津川町(新十津川町総合健康福祉センターゆめりあ)で開催され、14名の議員が参加しました。

また、8月19日(火)には、北海道市議会議長会道央支部協議会主催による議員研修会が赤平市(赤平市交流センターみらい)で開催され、11名の議員が参加しました。

● 7月23日(水)

第32回中空知ふるさと市町村圏議員交流会

場所：新十津川町総合健康福祉センター ゆめりあ

演題：人とつながるしくみをつくるコミュニティデザイン

講師：株式会社山崎亮事務所 代表取締役
(studio-L代表) 山崎 亮氏



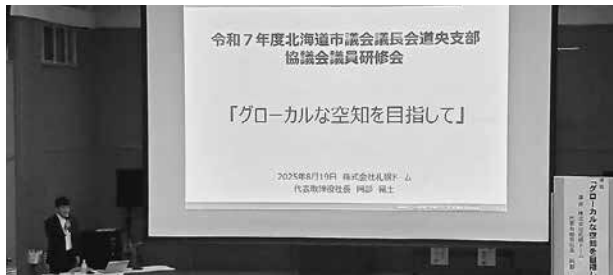
● 8月19日(火)

北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会

場所：赤平市交流センター みらい

演題：グローバルな空知を目指して

講師：株式会社札幌ドーム 代表取締役社長
阿部 晃士氏



行政視察

道外の市議会が滝川市を訪れました!!

●8月26日(火)

愛知県春日井市議会 (かすがい創政会 5人)
テーマ：公共施設マネジメント方針について
(担当：企画課)

●10月2日(木)

茨城県小美玉市議会 (創生小美玉 4人)
テーマ：公共施設マネジメントに関して
(担当：企画課)



愛知県春日井市議会



茨城県小美玉市議会

用語を理解して議会をもっと身近に!

■指定管理者 (P 2)

地方自治体が所有・管理する公共施設の運営や管理を委託される法人や団体のことです。
(例：市営住宅、公民館、公園、体育館など)

■行政代執行 (P 6)

法令に基づく命令に違反した場合、行政が本人に代わって義務を実行する制度です。例えば、違法建築物の撤去やゴミ屋敷の片付けなどが該当します。かかった費用については、後日、本人へ請求されます。

■略式代執行 (P 6)

所有者が不明かつ人命や安全に関わる緊急時に、行政が通常の手続きを省略して即座に行う代執行のことです。危険な建物や設備の撤去などに使われます。費用は一時的に市が負担しますが、執行後に所有者や相続人が判明した際には、その費用が請求されます。

気軽に！手軽に！ネット中継!!

滝川市議会では、YouTube（ユーチューブ）により会議の様子をインターネット上で配信します。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。



たきかわ市議会
ホームページQR

傍聴してみませんか

令和7年第4回滝川市議会定例会
開催予定日をお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
11/30	12/1	2	3 本会議	4	5	6
7	8	9 本会議 一般質問	10 本会議 一般質問	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

編集後記

昨年度1年間のお金の使われ方を審査し、決算を認定する9月議会が終わりました。予算の執行または事業の経営が適切かつ効率的に行われているか精力的な審査が行われました。

編集後記を書いている9月は、米の刈取りが行われています。今年の米の生産量は、昨年と比べて50万トン以上増加する見込みと言われています。店頭から米が消えることはないかもしれませんが、以前の価格に戻る気配はありません。値上がりで米離れや財布の紐が更に堅くなるのが懸念されます。いまだに物価の値上げが続き、市民の皆さんから暮らしや経営に苦労されている話を伺います。「去年よりも売り上げが落ちている。節約で財布の紐が締められているのを実感する」と嘆く商店主さん。財政事情が厳しいのは市だけではないことを痛感します。

たきかわ市議会だより編集委員会
委員長 寄谷 猛男

発行責任者 滝川市議会議長 山本 正信